1年

研究分野(教科) 国語
研究テーマ いっも使っている日本語について
研究テーマ 投業で学が、もっとくわしく言用でてみたいと

研究成果解説

図書食官で本を貸りてきて、日本語の歴史 文法、荀文語について、言問でました。生活

の中でよく使う 高女 言書の 全種類、使い方、日本言書の文法の特別などがよく分かりまけ。言周べてみてから、言呉用したりすることがジはったと思います。文法の 生きの数の他にも、文の成分についてや、重か詞についても、きまりなどが 王里 角軍 することができました。これからの生活の中で生かれることもタタいと思います。

## 〇日本語の歴史

日本語の文法などを調べる前に、「日本語の歴 史」について調べてみました。

### ・日本語はいつ頃生まれたのか

日本語の最も古い姿と認めることのできる例は、 「漢倭奴国王」と記す金印にあたります。 それに 『魏書』東東伝倭人条の記事に「卑弥呼」 などとあ ることから見ても、紀元前後に存在していました。

### ・日本語の文字の時代による変化

日本語は、漢字と仮名で書かれていますが、漢字が伝わる前の日本は、文字はありませんでした。しかし、「結縄」と呼ばれる縄の結び方や結び目によって、事柄や数学を表す符号の一種はありました。 漢字の読みを借りて、日本語の音節を表記したもの を「万葉仮名」と呼んでいます。

↓万葉仮名文章 (正倉院)

平安時代では「平仮名」がうまれました。女性は、主に平仮名を使いました。そして、敬語も発達しました。(P11~13で詳しく)

平安時代から時がたった明治以降では、振り仮名 付きの表記も普及し、ローマ字や外来語も使われる ようになりました。

この様に時がたつにつれ、日本語の表記の仕方など が変化してきました。

4

3

最後に日々よく使い、誤用しやすい、「敬語」に ついて調べました。

### ・敬語の種類

○敬語

### 1 丁寧語

話を聞いている相手や、文を読んでいる相手に 対して敬意を表す表現で、一部の丁寧語を、美化 語(お花、ご飯、のように『お、ご』を添える) と呼んで、別の種類とすることもあります。美化 語は、多用するとかえって言葉が下品に感じられ ることがあるので、注意が必要です。表現には助 動詞「です」「ます」を使う、「ございます」 「おります」を使う、そして、「美化語」があり ます。美化語は、和語には「お」、漢語には 「ご」をつけることが多いです。

動作を受ける相手にへりくだることにより敬意を込める表現と自分の動作や持ち物などについての丁重な表現があります。例えば「先生に申し上げる。」の「申し上げる」のような表現がある。謙譲語では、敬意を込める相手である「先生」が、動作の受け手になっています。表現には、謙譲動詞(伺う、拝見する、など)、動詞に「お(ご)~する」をつける(お待ちする、など)、謙譲動詞を補助動詞として用いる(いただく、など)があります。

### 3 尊敬語

動作をする人物について、その動作、物事、状態、様子を高めて表すことによって敬意を込める 表現です。

12

いつも使っている
日本語について

1 1



木村洋一先生	福寿園園長	一年 田中俐壮	秋田大学教育文化学部附属中学校	七月十日		お願いします。	ませんが、一生けん命頑張りますので、どうそよろしく	ですので、福寿園の方々にご迷惑をおかけするかもしれ	お年寄りのお世話をさせていただくことは、初めての経験	うことで本当にありがとうございます。	ボランティアスクールの活動にご協力をいただけるとい	さて、先日電話でお話ししましたが、私たち戸山二中の	お元気ですか。	梅雨明けが待ち遠しい季節となりましたか園長先生	拝啓	
		中州壮			敬具		ろしく	かもしれ	の経験	2	ると	二中の		長先生		

令和5年度 秋大附中自由研究 国語1年

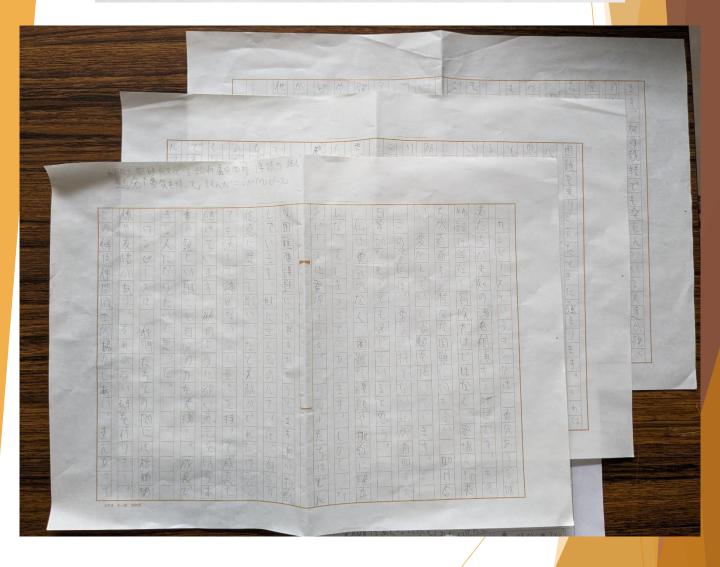
研究分野(教科)	国語
研究テーマ	方言の分布
研究テーマ設定の理由	昔,見た方言のテレビを思い出し 発問をもったため。

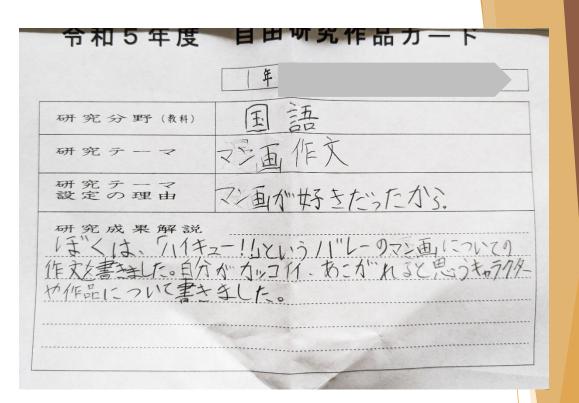
研究成果解説

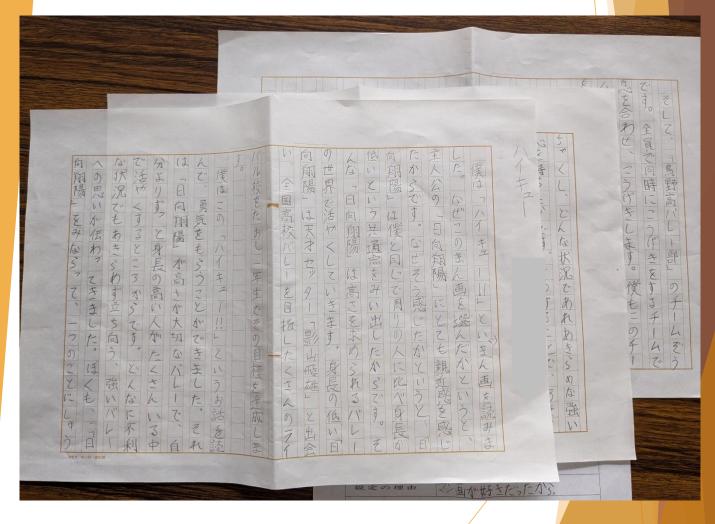
日本の中央にある日本アルプスによって、言葉の言い方が分かれていると分かった。基本的に東と西で分かれていて、北と南ではあまりは、きりと分かれていなか、た。次、言周べる日寺は、方言はなぜできたのか、秋田県と他県の方言のちがいを知りたい。



	年
研究分野(教科)	国語
研究テーマ	作文(マンか感想文)
研究テーマ設定の理由	マンからしいすせていすまなことを自由を作家のテーマにこしてもかってしたから
研究成果解説	りかん自分をはれ、愛かりところを
	MELATICITAC"
しっかりと完成まで	考さいけいれたことしき、味かいあるとう。







	1	

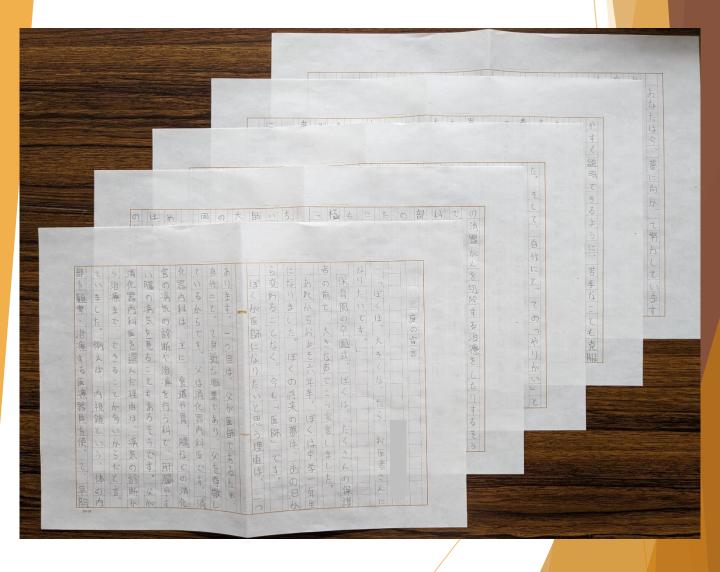
研究分野(教科)	国語
研究テーマ	作文(題名:私の名前と目標)
研究テーマ設定の理由	文章を書くのか、好きたがら。

研究成果解説

私が生まれたときのことについて、家族にたくさんインタビューレス、自分が家族の気持ちを素直にはまりと書きまして、名前に込められた家族のでわかい、も改めて知り、自分の夢についてより、前向きに考えられるようになりました。

**************************************		賞。専用		_						4	*校名 木		大学	教育	文	化学	部門	属	中学	学年
モ 名										5	イトル	和力	名前	2 3	標					
おめでとう。と病室に来てくれたとき、母は	1	気持ちを強く持つことに必死だった。無事に	私を一グラムでも大きくして生まなければと	私にできる形で返していきたい。母は入院中	った。名前にあるように、神様からの恵みを	人を助けられる人になりたいと思うようにな	た私は、「医師になる」という目標をけえ、	たくさんの人たちに助けられて生まれてき	運たと思う。	K O T O N O H A T A I S H O	せに満ちた中で人生をスタートできた私は幸	奇跡。と飛び跳ねて喜んだそうだ。家族の幸	そうだ。私が生まれたとき、姉は「奇跡だ、	に生まれてきますように。と毎日析っていた	れて私は生まれてきた。家族は「どうか無事	助産師さんなどのたくさんの人たちに助けら	問入院していた。祖母や友人、病院の先生や	が母のお腹にいるとま、母は切迫早産で長い	を込めて西親がつけてくれた「花」の字。私	神様からの恵みか受けられるようにと願し

	一年
研究分野(教科)	国語
研究テーマ	作文
研究テーマ設定の理由	自由研究を通して作文の練習をしょうとし
研究成果解説(武法医品下切)下的	理由と共の自分へのメッセーンを書き



研究分野(教科)	
研究テーマ	
研究テーマ設定の理由	
研究成果解説	





感想

推理小説へ有名な江戸川、乱帯、でも、私はおの部分に 注目した。それは、動機りた、事件には動物のかなると思う。 その動機かしていまかなかった。自分の始れるかせるをはっきたらた 悪戯をいたの、及達かいで、カかったのなかと進しみや、マーモア

什表作 個人二面想」

トあれれている。私達は、テレビを見て、事件の動機、を伝え、 でも、細計は分からないできた。江戸川和歩の作品になりかり とある。高橋でで、人の似を動かす。たから気は ヨア州 かずの作品か 49 さだと思った。



太军 岩

出身 青森県 金木村 時代 1909~1948

松 津島 修治

代表作"斜陽」「人間供格」

私が意味をは「代日」の差」だ。「別日」の要」は家庭を読みいいた

你品が多い家庭は壊れることが天通している。む、いいらとわってり場れるも

のもまれば、急に壊れるものもあり、予想かつかないのでいとでもあもいろし。

主公の悩みや昔いみに正解はないのかと思う。幸せな家庭を大多のは

難い、夫婦が想思想愛であるとは便らないし、そうていあっても、好きでなく

かることもあると思う。ても、大学の経論には、反対した、家庭の幸福は

就悪の本」。私職事せな家庭は俺人にも幸せるもたらすと信いたか

中华几个学村, 构第四、新发生社。

预先。(海发发后。在内)

エアル 記参は人。日をとても与たいた。理由は、考し 1 から葉の毛がうなかったから、らいい、でし、葉の回りき後にするとり いろいなな発見が、あるく思う、たみら 推理小説もあらくからの たと思いた。「教養多転のある時見りかあるでは、独殿はあるから 発見があり、そこから措理が読か、生まれたと思えば、五分五分校と

と思いた。梅理小蔵のは上は投送や、暗号のある そのトナフト・キョイが、読者、予想を整々と越えて くる。せでい、読れてはいい。

人生 (時代智量)

。1909年 6月19日 青春県の大地主の物書目の子供として住まれる。 本品「津島 修治」

。1925年 (16歳)

初めての作品最後の太関」を供託会話で発表 当時大ファンド、在芥川能なかのがある読んでいた

1927年(下京) 1日文書(下京) 1日文書書等で成た人巡する。この年、季節している 本川 能之介のセベル、大一川東ラけるい。 で 中がか 作品のませなり、大一川東ラけるい。

作品的影响的的。(精神的日本安日的) 立方道子

不眠症(於)、精神的(不能) · 19974

人間失格」発展、愛人とおに低中し死亡

大宰の作品は二面性がある。その二面性は、とこから果ではの た3ウと思う。大学は初少期、食用しかき育さられており、実の母親がらの負債を受けたプレップログ、そのせないしてかあるのかもしも合い。たひたび、また神助 こ不安なる太宇。周りに明るくふるまう人風物からため、同時に人を 拒絶したり、怖かる一面があた。精神的に不能になったのは、人の目 を気にしずすていたのかもしれない、家庭の題がたした作品は、とれる 暗土やりが計断目立つ。自分の幼少期の家庭が環境のことが小説 にも、出て来でいるのかもしれないと感いた。